

# 図書館サービスの機能向上について(概要版)

## 課題1:図書館の圏域

- 区の図書館の設置基準として人口5万人に対して1館と設定
- 令和5年4月1日現在、1か所あたり面積2.9km<sup>2</sup>、人口51,825人をカバー⇒23区の平均値に近い数値

現時点において11か所12館の区立図書館の配置及び設置数は適正である。  
図書館の圏域から離れた地域については、新たな取組を実施していく。

## 課題2:氷川図書館、高島平図書館の施設整備

### 氷川図書館

- 随時外壁改修や空調設備・受変電設備の更新などの維持改修工事を行ってきたため長寿命化改修までは不要
- 「新耐震基準」を満たしているため耐震補強工事を行う必要はない

当面の間は重点部位を中心とした維持改修工事を行うことで老朽化に対応していくこととする。

### 高島平図書館

- 高島平まちづくりの再整備地区に位置付けられていることから、まちづくり計画との調整が必要

高島平地域のまちづくりにおける施設の再編整備を具体化していく中で検討していくこととする。



小さな絵本館の例



## 課題3:図書館運営のあり方

### 中央図書館及びいたばしボローニャ絵本館

- 中央館としての図書館政策の企画立案機能、指定管理者の統括機能、施設管理、資料選定、区主催で各所と連携したイベントの企画・実施を区職員が担う

### 地域図書館

- 地域図書館については、平成20年度から3館(氷川・東板橋・小茂根)、21年度から7館(赤塚・高島平・成増、清水・蓮根・西台・志村)の地域館10館すべてに指定管理者制度を導入

地域館の運営については、指定管理者により地域特性を活かした特色のある事業展開が図られており、指定管理者制度を引き続き継続していく。

図書館の運営形態については引き続き他自治体の動向などを注視していく。

## 課題4:図書館の圏域から離れた地域へのサービス拡充

- 区立図書館は半径1kmの圏域を設定のうえ配置
- その一方で、どの図書館の圏域からも離れている地域が存在

これまでの対策  
・電子書籍サービスの活用・充実  
・小さな絵本館事業の推進

新たな取組  
・坂下・志村三丁目地域  
・中丸町・南町地域  
に図書返却ポストを設置



図書返却ポスト